

2017 年度
第 46 回日本選手権関西連盟中国大会
大 会 要 紹

主 管 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
期 日 平成 29 年 5 月 20 日（土）～平成 29 年 6 月 17 日（土） ※予定
場 所 しまなみ球場、山口きららドーム球場、三原市民球場、福山市民球場
開 会 式 5 月 20 日（土）しまなみ球場 8:30～（開門 7:00～ 受付 7:30～）
閉 会 式 6 月 17 日（土）福山市民球場
参加チーム 関西連盟中国支部加盟：19 チーム

試 合 球 各チーム用意（ミズノ）試合ごとに 4 球

競 技 要 項

この大会は、日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟大会規定及び中国支部が定める特別規則に基づき実施し、**試合開始後 2 時間を経過し新しいイニングには入らない。**

- 1 **試合は 7 回戦**とし、**5 回をもって試合成立**とする。（5 回までは 2 時間超えても試合を行う）
なお、試合成立後の**延長戦は行わず、即タイブレイク**（最大 3 回：1 アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18 名）による抽選にて勝負を決する。
- 2 5 回以降 7 点差をもってコールドゲームとする（但し決勝戦は除く）
なお、**大会特別規定として 4 回以降 10 点差をもってコールドゲーム**とする。
- 3 各球場毎のグランドルールは、試合開始前に各会場の審判員により説明を行う。
- 4 各チームは前試合 4 回終了後、事務局長・監督・選手代表者の 3 名により、**選手登録書、選手カード、所定のメンバー表（4 部）、試合球 4 球、投球確認シートを本部**に提出し、審判員並びに本部役員立ち会いの下、攻守を決定する。
- 5 **各チームの初戦のみ、ベンチ前にて選手カード（顔写真確認）と大会登録書の照合**を行う。
- 6 試合前のシートノックは 7 分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（各補助員は登録選手に限る）
- 7 次試合チームの先発バッテリー 1 組に限り、前試合 4 回終了時からブルペンに入り、投球練習を行ふことが出来る。（但し攻守決定後に限る）ブルペン捕手は必ず防具を装着のこと。
- 8 ベンチは若番が一塁側とし、ロージン・ボールボーイは支部取り決めどおりとする。
- 9 審判員は第 1 試合の試合開始 1 時間前に待機し、第 2 試合以降は前試合 4 回終了時には審判控室にて待機する。**（審判服は支部指定。準々決勝までは各チーム 1 名ずつ）※審判カードを持参。**
- 10 アナウンスの方は、第 1 試合の試合開始 1 時間前に待機し、ストラップ付き名札を着用する。

その他の注意事項

- 1 外野フィールド内でのトスバッティングやノック及びスパイクシューズを履いてのキャッチボールを禁止する。（アップシューズ着用でのキャッチボールは可）
 - 2 審判へのお茶出しのアナウンスは行わないこととする。
 - 3 各会場の球場担当は、**一塁側が本部当番、審判お茶出し、BSO、ボールボーイの空き箱用意。**
三塁側が試合速報入力、スコアボード操作（電光掲示板含む）を担当する。
 - 4 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
 - 5 当日、事務局長が欠席の際は「事務局長代行届」を各会場の本部に提出すること。
 - 6 球場応援団はメガホンを叩いて応援することを禁ずる。
- ※ 選手は常にスポーツマンらしいきびきびした動作でプレーし、相手を中傷するような野次を發したり、審判員や相手指導者に対する個人攻撃は、選手はもとより指導者・応援者もこれを禁ずる。